



TLSC

大阪大学ファカルティ・ディベロップメント
プログラムガイド
Faculty Development Program Guide

2014年度 10月～3月



◎お申し込み・お問い合わせ

大阪大学 教育学習支援センター
http://www.tlsc.osaka-u.ac.jp
〒560-0043 豊中市待兼山町1-16
豊中キャンパス 全学教育総合棟Ⅱ4階417
TEL.06-6850-5606
office@tlsc.osaka-u.ac.jp





マップ
プログラム

教育学習支援センターが
実施している各種プログラムを
内容別に図示しているマップです。
ご関心のあるプログラムにぜひご参加ください。

教育学習支援センター（TLSC）の活動

教育学習支援センターでは、大学教員に対する教育支援を行っています。

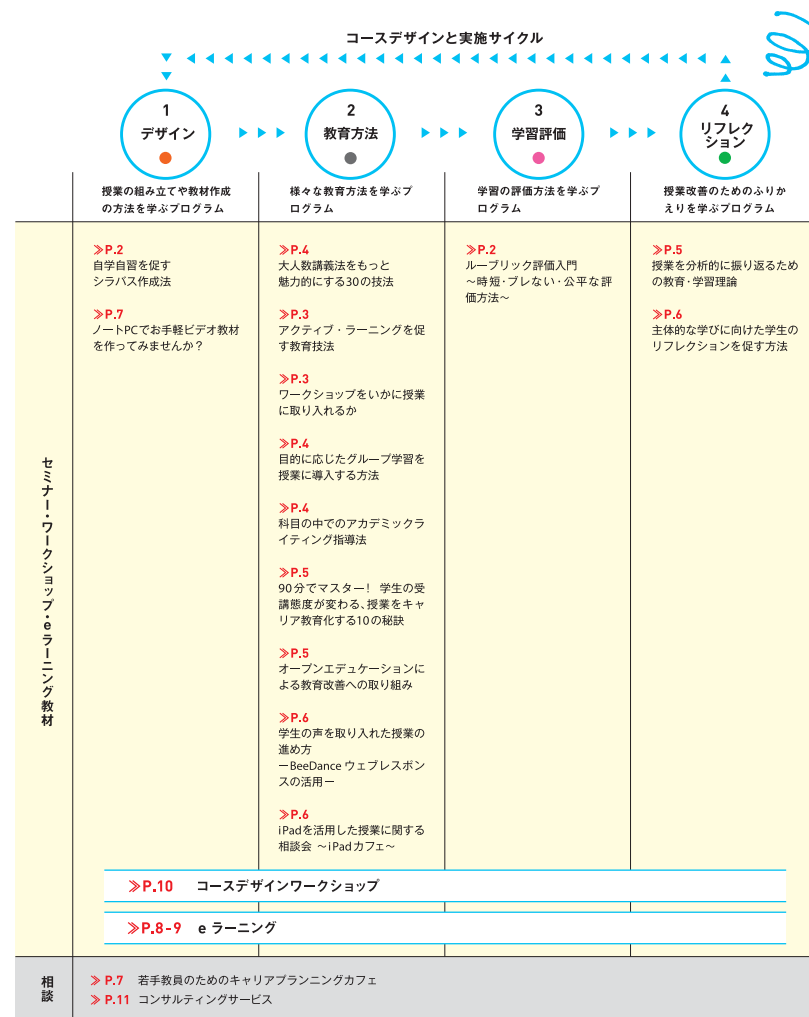
具体的には、授業デザイン、授業の実施、改善のための
リフレクションを行う一連のサイクルに関して、さまざまなプログラムを用意しています。

自分の教育課題に応じて、最適なプログラムを選ぶことができます。

また、教育・研究活動時間の都合に応じて、
セミナー、ワークショップ、eラーニングといった

プログラムのタイプを選択することができます。

個別のご相談をうかがうコンサルティングサービスもご利用ください。



◎コースデザインと実施サイクル

コース（授業科目）を目的・目標に基づいてデザインし、実際に教授し、授業改善のためのリフレクションを行う一連のサイクルのことです。



比較的短時間のプログラムです。
毎年開催している通例のものから
今期初めてのものまで様々取り揃えています。

お申し込みはこちらから <http://www.tlsc.osaka-u.ac.jp>



自学自習を促すシラバス作成法

講師：佐藤浩章（全学教育推進機構）…120分



◎豊中キャンパス

日時：1月8日(木) 13:00～15:00

会場：全学教育推進機構 A棟212教室

◎吹田キャンパス

日時：11月27日(木) 13:00～15:00

会場：コンベンションセンター 研修室

〈概要〉

シラバスは授業の設計図であり、授業の出発点です。そのシラバスの記載は十分に学生の学習を促すものになっているでしょうか。あるいは、国際社会で通用するものになっているでしょうか。外部評価においても、そして教員の個人業績評価においても、シラバスの重要性は高まっています。本セミナーでは、学生の自学自習を促すシラバス作成方法を身につけます。セミナー受講後には参加者の皆さんが「適切な授業目的・目標設定ができる」「学習を促す内容のデザイン原理を説明できる」「目標に対応した評価方法を選択できる」ことをめざします。来年度の授業は、新しいシラバスを使ってスタートしましょう。

*参加者はご自身のシラバス（どれか1つ）を持参ください。

ループリック評価入門

～時短・ブレない・公平な評価方法～

講師：佐藤浩章（全学教育推進機構）…120分



◎豊中キャンパス

日時：1月8日(木) 15:30～17:30

会場：全学教育推進機構 A棟212教室

◎吹田キャンパス

日時：11月27日(木) 15:30～17:30

会場：コンベンションセンター 研修室

〈概要〉

1枚目のレポートの採点基準と50枚目のそれがずれていると気になったことはありませんか？評価にかかる時間をもっと短縮できたらと思っただけではありませんか？ループリックがそんな悩みを解決してくれます。ループリックとは、教育・学習成果の評価の厳密化と効率化を進めるために使われる評価ツールです。本セミナーではループリックの作成手続きと様々な事例を紹介しながら、研修時間内に自らの授業で活用できるループリックを作成します。成績評価の厳密化と効率化を進めたい教員だけでなく、カリキュラム・プログラム評価に関心のある教職員、人事評価に関心のある教職員の方にも有用な内容です。

*参加者は事前に送付されるファイルを取り込んだパソコンを持参ください。持参できない場合はパソコンを貸し出しすることも可能です。ご相談ください。

アクティブ・ラーニングを促す教育技法

講師：佐藤浩章（全学教育推進機構）…120分



◎豊中キャンパス

日時：11月6日(木) 18:00～20:00

会場：全学教育推進機構 A棟212教室

◎吹田キャンパス

日時：10月20日(月) 15:30～17:30

会場：コンベンションセンター 会議室3

〈概要〉

「アクティブ・ラーニングは自分の授業では無理！」と思っている方も多いと思います。本セミナーでは、多様なアクティブ・ラーニングを促す教育技法を説明し、簡単に、手軽に講義法に取り入れる方法をお伝えします。予定している技法の例（「ペア・リーディング」「反転授業」「Think Pair and Share」「PBL」「間違い探し」「バスセッション」「EQリスニング」）また技法と同時に、アクティブ・ラーニングの誤解を解くために、その意義についても再考します。参加者は一通り技法を学んだ後に、自らの授業に取り入れるために授業計画を立案します。

*参加者はご自身のシラバス（どれか1つ）を持参ください。

ワークショップをいかに授業に取り入れるか

講師：森 秀樹、大山牧子、根岸千悠（教育学習支援センター）…120分



◎豊中キャンパス

日時：11月13日(木) 15:00～17:00

会場：全学教育推進機構 A棟212教室

〈概要〉

近年、社会教育の場を中心に、活動を通じた協同的な学びの場としてワークショップが注目されています。またワークショップでは教えることよりも、ファシリテーション（引き出すこと）が重要視されています。ワークショップやファシリテーションは、大学教育においても授業の各場面に取り入れることにより、学生が主体的に学ぶきっかけとなる可能性を持っています。このセミナーでは、講師が今までに実践してきた子ども向けから大学生向けまでの様々なワークショップを紹介し、実際にワークショップの体験もしながら、ワークショップやファシリテーションを授業にどう取り入れていくことができるのか考えていきます。



目的に応じたグループ学習を 授業に導入する方法

講師：大山牧子、森 秀樹、根岸千悠（教育学習支援センター） ...90分

New!

◎豊中キャンパス

日時：2月4日(水) 15:00～16:30
会場：全学教育推進機構 A棟 212教室

〈概要〉

アクティブ・ラーニング型の授業が注目されて久しいです。アクティブ・ラーニング型の授業で多く導入されるグループ学習には、様々な種類がありますが、学生の深い学びをもたらすためには、目的に応じた方法を導入することが重要です。自らの授業の中でどのようにとりいれて良いのか困っていますか？本セミナーでは、大学の授業の中で実施されている様々な種類のグループ学習と、その特徴を説明すると共に、授業の中で目的に応じてどのように導入するかを考えます。

科目の中でのアカデミックライティング指導法

講師：堀 一成（全学教育推進機構） ...90分



◎豊中キャンパス

日時：10月28日(火) 16:20～17:50
会場：全学教育推進機構 A棟 212教室

〈概要〉

学生へのアカデミックライティング指導は、特定の科目だけで完結するものでなく、すべての科目担当教員がその能力育成に気を配る必要があります。図書館でのライティング講習会などの指導経験から、最低限学生に伝えるべき内容と、その説明のテクニックについて紹介します。担当者は1年生対象の共通教育科目で課されるレポートの指導レベルを前提にお話ししますが、参加者からの情報提供において、専門科目の実験レポートや、卒論につながるゼミライティングの話題もディスカッションの対象に含めます。

大人数講義法をもっと魅力的にする30の技法

講師：佐藤浩章（全学教育推進機構） ...120分

New!



◎豊中キャンパス

日時：11月6日(木) 15:00～17:00
会場：全学教育推進機構 A棟 212教室

◎吹田キャンパス

日時：10月20日(月) 13:00～15:00
会場：コンベンションセンター 会議室 3

〈概要〉

大人数の講義法は数ある教育技法の中でも最も難易度の高いものです。教員の方々からは、「私語が多い」「資料配布やレポート採点がたいへん」という声が聞かれます。一方で、150人を超えると学生の満足度は高まるというデータもあります。大人数講義の特殊性を理解し、大人数を逆手に取る発想を用いれば、その雰囲気を変えることも可能です。今回は、誰にでも実践可能な30の授業技法を紹介しながら、大人数講義をもっと魅力的にする方法を考えます。

90分でマスター！学生の受講態度が変わる、 授業をキャリア教育化する10の秘訣

講師：家島明彦（教育学習支援センター） ...90分

New!



オープンエデュケーションによる 教育改善への取り組み

講師：竹村治雄
（サイバーメディアセンター、全学教育推進機構） ...90分

New!

◎豊中キャンパス

日時：10月16日(木) 16:20～17:50
会場：全学教育推進機構 A棟 212教室

〈概要〉

一生懸命教えているのに学生のやる気が低い、そんなふう感じたことはありませんか？最近の学生は「この授業は将来の自分にとって役に立つ授業なのか？」ということに気にする傾向があります。大学での学びにコストパフォーマンスという感覚を持ち込むなんてケシカラン！と腹を立てていても仕方ない時代です。ところがこの問題、実は解決可能です。教える内容・量はそのままに、ほんの少し工夫するだけで、学生の受講態度が変わる、とっておきの秘訣があります。このセミナーでは、その秘訣を90分でお伝えします。

◎豊中キャンパス

日時：11月4日(火) 10:30～12:00
会場：全学教育推進機構 A棟 212教室

◎吹田キャンパス

日時：12月15日(月) 13:00～14:30
会場：コンベンションセンター 会議室 1

〈概要〉

教育資源を無償で公開する Open Educational Resource (OER) 運動が世界的に進展しつつあります。大阪大学でも2005年よりオープンコースウェアを運営しています。また、大規模公開オンライン講座 MOOCs が世界的な注目を集めています。本セミナーでは、Open Education, OER, MOOCs に興味をもたれている教員を対象に、世界および日本での動向や、自分の講義教材を OER や OER として公開する際に知っておくべきことなどを紹介します。また、これらを利用した教育改善の可能性についても紹介します。

（講師は、OpenCourseWare Consortium Board member、日本オープンコースウェアコンソーシアム代表幹事、大阪大学 OER 運営責任者です。）

授業を分析的に振り返るための教育・学習理論

講師：松河秀哉（全学教育推進機構） ...240分

New!

◎豊中キャンパス

日時：12月22日(月) 13:00～17:00
会場：全学教育推進機構 総合棟 1 開放型セミナー室

〈概要〉

行動主義、認知主義、構成主義、状況論、社会的構成主義といった、教育が依拠してきた学習理論や認識論の変遷と、それに合わせた教育方法・教育観の変遷を説明します。その後、各自が行ってきた授業について分析を行い、グループでどのように変えていける可能性があるかを話し合います。



学生の声を取り入れた授業の進め方 ーBeeDance ウェブレスポンスの活用ー

講師：岩居弘樹（全学教育推進機構）
森 秀樹、大山牧子、根岸千悠（教育学習支援センター）

…90分

New!

iPadを活用した授業に関する相談会～iPadカフェ～

講師：岩居弘樹（全学教育推進機構） …30～60分



主体的な学びに向けた 学生のリフレクションを促す方法

講師：大山牧子、森 秀樹、根岸千悠（教育学習支援センター） …90分

New!

◎豊中キャンパス

日時：11月11日(火) 16:30～18:00
会場：全学教育推進機構 A棟 212教室

〈概要〉

主体的な学習を促すためには、予め決まった内容を講義するだけでなく、授業中に学生の声を取り入れ、あるいは学生の学習状況を的確に把握しながら授業を進めていく必要があります。その方法の一つとして、このセミナーでは、大阪大学に新しく導入されたBeeDanceウェブレスポンスの活用方法を紹介します。BeeDanceウェブレスポンスは、学生のスマートフォンなどからアクセスすることで、どこでも簡単に選択式や記述式の問題を出題し、即時に学生の解答結果をまとめ、学生の理解度などを確認し、授業に活かすことができます。

（大阪大学の全教室で利用可能です）

◎豊中キャンパス

日時：原則火曜日・水曜日 16:00～17:00
会場：全学教育推進機構 A棟 212教室、312教室

〈概要〉

授業に関するアイデアをどのようにすれば実現できるか、授業で実際にiPadを利用して困ったことをどのように解決するかなどの具体的問題点・課題についての相談会を行います。個別に、あるいはグループで、実際に機器に触れながら解決方法を考えます。

※日時は原則、火曜日・水曜日の16時～17時となっております。事前に予約をお願いします。この日程では参加が難しい場合は別途ご相談ください。希望日および相談内容については、1週間前までにウェブサイトの申込フォームの備考欄にお書きください。

◎豊中キャンパス

日時：2月18日(水) 15:00～16:30
会場：全学教育推進機構 A棟 212教室

〈概要〉

学生が主体的に学ぶためには、自らの学習をふりかえり、捉え直す「リフレクション」を促すことが有効です。リフレクションは、授業において学習したことを定着させるだけではなく、既存の知識と新たに習得した知識の接続を意識させることができます。本セミナーでは、授業の中で、学生のリフレクションを促すための観点やツールを用いた方法を紹介し、授業の中でどのように取り入れるのかを検討します。

ノートPCでお手軽ビデオ教材を作ってみませんか？

講師：黒田嘉宏（サイバーメディアセンター） …90分



若手教員のためのキャリアプランニングカフェ

講師：根岸千悠、大山牧子（教育学習支援センター） …90分

New!



◎豊中キャンパス

日時：10月22日(水) 14:30～16:00
会場：全学教育推進機構 A棟 212教室

◎吹田キャンパス

日時：10月22日(水) 10:30～12:00
会場：コンベンションセンター 研修室

〈概要〉

Echoパーソナルキャプチャ（ダウンロード可）を用いれば、お手持ちのPCでお手軽にビデオ教材を作成し、専用サイトやCLEを通して学生に配信することができます。授業スライドを見せながら音声で解説を加えるビデオ教材を、予習や復習、補講等にご利用いただけます。また、カメラ（PC付属も可）で教員の様子も同時に収録することも可能です。本ワークショップでは、ご自身のノートPCで実際に映像教材をつくりながら、授業での活用方法をご検討いただけます。

※当日はノートPC（WindowsもしくはMac）をお持ち下さい。USBカメラは幾つか準備しておりますが、数が足りない場合はご容赦ください。
※授業での公開をご希望の方は、参加申込みフォームの備考欄に「授業名」をお書き下さい。

◎豊中キャンパス

日時：10月24日(金) 18:00～19:30
2月20日(金) 18:00～19:30
会場：全学教育推進機構 A棟 212教室

〈概要〉

研究と教育のバランスや、学生とのコミュニケーション、効率的な事務作業の方法などお困りなことはありませんか？また、3000人いるはずの阪大教員。でも実際お会いしたことある先生はそんなに多くない、という方もいらっしゃるのではないのでしょうか。本セミナーでは、カフェのようなリラックスした雰囲気の中、少人数で同じテーマについて、新たなアイデアを生み出していく「ワールドカフェ」の手法を取り入れます。今期は10月と2月に開催します。終了後には場所を移しての懇親会も予定していますので、ぜひお誘いあわせの上、ご参加ください。

※年齢や教員歴は特に問いません。自称若手の方、大歓迎です。



実践的FDプログラムオンデマンド講義(全国私立大学FD連携フォーラム)

大学教員の4つのアカデミック・プラクティス(教育・研究・社会貢献・管理運営)に対して、系統的な理論や実践に関するオンデマンド講義が準備されています。

◎講義例

現代の高等教育 講師：金子 元久 ● 概論

「高等教育」と「大学」はどのように異なるのか。高等教育とは何か解説されています。「自らの大学の置かれた立場と今後の対応を考えること」ができるようになることを目指します。

大学評価論 講師：安岡 高志 ● 課題別

大学評価は何のために行われるのか。大学評価が導入された背景は何か。国内外の背景や目的が解説されています。PDCAサイクルを機能させるための条件についても考察されています。

青年期の心理 講師：白井 利明 ● 課題別

青年期の発達課題とは何か。青年期における葛藤の理解の仕方についての解説を受け、青年期の教育について発達の視点から考えていきます。

発達障害のある学生の学び
ーアスペルガー症候群を中心にー 講師：荒木 穂積 ● 概論

発達障害の一つであるアスペルガー症候群の歴史と現状について学びます。アスペルガー症候群のある学生への学びの支援について理解を深めます。

研究者にできる多様な
アウトリーチ活動の紹介 講師：半田 利弘 ● 課題別

研究者が留意すべき表現上・演出上の注意点が解説され、アウトリーチ活動を効果的に実行できるようになるヒントをどのようにして見つけるか紹介されています。

大学教職員のための
大学管理運営基礎 講師：肥塚 浩 ● 課題別

大学管理運営において教職員が果たすべき役割とは何か。大学の使命と教職員の役割を考える際に、大学のミッションから教職員個人のレベルまで運動していることが解説されています。

近年の大学改革の進展を踏まえた大学管理
運営の新たな発想 講師：山本 眞一 ● 概論

急速に進展している大学改革が、大学管理運営にとつてどのような意味を持つのか。「大学教職員として、新たな状況に応じ管理運営上の適切な判断ができる能力」を養うことを目標としています。

アクティブ・ラーニングの理論と
実践における課題 講師：三浦 真琴 ● 概論

アクティブ・ラーニングを実現するために提示された理論のうち、実践に資すると思われるものが紹介されています。「アクティブ・ラーニングを目指す授業をデザインできる」ことを目標としています。

高等教育における授業技術

講師：木野 茂 ● 概論

授業におけるコミュニケーションの差で授業効果が異なります。なぜ双方向型授業がよいのか。双方向型授業の具体的な例をあげながら説明されています。

学習教材作成における著作権等の理解

講師：坂井 知志 ● 課題別

著作権法の原則を知識として学ぶとともに、著作権法を遵守しながら学習教材をどのように作成することが望ましいのかについての方法論も学びます。

学生授業評価の読み方と授業への活用

講師：安岡 高志 ● 課題別

授業評価に関して先進国である米国の例を題材に、どのような因子がどのように影響するか学びます。また授業評価に関して、日本の学生の意見も紹介されています。

大学の授業の設計 講師：沖 裕貴 ● 概論

「カリキュラムや授業の設計において、学習成果を明確にし、適切に到達目標(行動目標)を設定することができる」ことを目指し、行動目標に即した成績評価について考えていきます。

金沢電子出版 eラーニング教材

講義に活かせるFD講座「入門編」

先生のノウハウをさらに活かせるコツとは？日々の講義に活かせる映像教材です。



授業に活かすプレゼンテーション

授業や講義でのより効果的なプレゼンテーションのための心構えと技術について分かりやすく解説しています。



大阪大学GFDプロジェクト「Let's teach in English」

大阪大学教員が「自信を持って英語で講義できる」ようになることを目的としたe-Learning教材です。

*大阪大学GFDプロジェクトとは、大学教育のグローバル化に対応したFD支援事業「教育のグローバル化、教員の英語力強化のためのFDです。」



大阪大学授業支援システム(CLE)「大阪大学FD研修 映像配信」

全学ファカルティ・デベロップメント研修(全学FD)の映像を配信しています。現在、2009年度～2013年度の全学FDのビデオを公開しています。

●／●／●／●／● 概論

☐ 「授業デザイン入門」ーシラバスの書き方ー ● 課題別

講師：佐藤 浩章

☐ 「大人数講義入門」 ● 課題別

講師：小林 直人

☐ 「効果的なグループワークの進め方」 ● 課題別

講師：佐藤 浩章・小林 直人・野本 ひさ

☐ 「成績評価法」 ● 課題別

講師：野本 ひさ

☐ 第1章 コミュニケーションとプレゼンテーション ● 概論☐ 第2章 効果的なプレゼンテーションの構成 ● 概論☐ 第3章 プレゼンテーションの構成 ● 概論☐ 第4章 効果的なシート(パワーポイントを使って) ● 概論☐ 第5章 効果的なシート(静止画や動画の扱い方) ● 概論☐ 第6章 話し方と姿勢 ● 概論☐ 第7章 アクシデントに対処する ● 概論☐ Internationalization of Education

高等教育の国際化について学ぶための教材 ● 概論

☐ Theory and Practice ● 課題別

英語による講義方法を学ぶための教材(自然科学分野・人文社会科学分野)

英語による討議方法を学ぶための教材(自然科学分野・人文社会科学分野)

☐ Discipline-specific Approaches

個別分野に特化した教材 ● 課題別





ワークショップ

まとまった時間で
コースデザインを包括的に
学べます。

コースデザインワークショップ

一泊二日の宿泊形式で、与えられた学習テーマにもとづき、グループ内メンバーで同一のコースデザインを行います。まだ授業を担当したことがない教員、連続する授業の一部しか担当していない教員、グループで課題を遂行する学習スタイルを好む教員、短期間で集中して学習したい教員に推奨します。

■日程

2015年2月12日(木)～13日(金)

■会場

スペースアルファ神戸 (大阪大学以外の方は宿泊費実費負担)

■プログラム

1日目(10:00～21:00)

◎オリエンテーション、アイスブレイキング

◎ミニ講義

Ⅰ何が学生の学びを促進させるのか Ⅱシラバス作成法
Ⅲ様々な授業方法 Ⅳクラスデザイン法

◎ワーク(共通のコースの開発)

Ⅰ目標設定 Ⅱ授業計画 Ⅲシラバス作成 Ⅳ・Ⅴ授業
計画案

2日目(8:30～13:30)

◎ワーク(共通のコースの開発) Ⅵ模擬授業の練習

◎模擬授業



■参加者の声

「シラバスの内容である目的・目標、講義内容、評価という流れの中には、一貫性があるはずだが、これまでは自分の感覚や慣例で作成してきたため、一貫性がなかったという事実が気が付くことができた」(医学系研究科・助教)

「様々な授業スタイルに触れることができ、私も授業スタイルを工夫してみようという気持ちになった」
(工学研究科・助教)

「今回のワークショップを通じて、自分が普段行っている授業とはだいぶ違う授業手法があることを目の当たりにした」(他大学・教授)

※今年度の3日コース、4日コースのワークショップは終了しました。



シンポジウム

国内外の講演者から
最新事例を学びます。

シンポジウム

■テーマ

大学カリキュラム改革の最前線

—新しい時代に求められる能力と教養教育—

■日時

2014年11月15日(土) 10:00～16:30

■場所

大阪大学豊中キャンパス基礎工学部シグマホール

■主催

大阪大学教育学習支援センター

■共催

大阪大学全学教育推進機構

■プログラム

◎基調講演

「21世紀スキルを大学で育成する意義」
レイ・ランド(Ray Land)教授(Durham University)

◎事例講演1

「アールト大学の新しいカリキュラム」
マルティ・ラエヴァラ(Martti Raevaara) 副学長
(Aalto University)

◎事例講演2

「ポートランド州立大学の一般教育カリキュラム」
イーヴス・レビシエール(Yves Labissiere) 教授
(Portland State University)

◎事例講演3

「京都大学における一般教育改革」
喜多一教授(京都大学国際高等教育院副院長)

◎基調講演と講演事例の解説

川崎太津夫教授(大阪大学未来戦略機構)

◎大阪大学における教養教育改革

下田正 大阪大学副学長
(大阪大学全学教育推進機構教育長)

◎パネルディスカッション

※講演タイトルは変更になる可能性がありますことをご了承ください。

※最新の情報やお申し込みは教育学習支援センター
ウェブサイトから。

<http://www.tlsc.osaka-u.ac.jp>

(2014年9月現在)



コンサルティングサービス

コンサルティングサービス

教育や指導に関してお困りのことはありませんか? 複数の内容を組み合わせでお申込みいただくことも可能です。随時、受け付けておりますので、教育学習支援センターのウェブサイトよりお気軽にご連絡ください。

<http://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/consuform>



◎これまでご相談いただいた内容の例

- ・講義自動収録配信システム(EchoSystem)の活用方法について知りたい
- ・研究室教育について相談したい
- ・シミュレーションを取り入れた教材を作成したいなど



教育学習支援センター(TLSC)の今をお届けします。セミナーやワークショップ等でお寄せいただいた参加者の声も紹介します。

◎セミナーレポート

TLSC(教育学習支援センター)は、2014年度前期に累計20以上のFDセミナーを開催いたしました。その中から5つのセミナーをご紹介します。

オンラインで補講をしませんか—自動講義収録配信システムの活用例—

自動講義収録配信システム(ECHO)は、黒板の板書、スライド、音声などを一括収録し、授業支援システム CLEに自動的に表示させることができるものです。5月28日、黒田嘉宏准教授(サイバーメディアセンター)により、ECHOの利用方法を学ぶセミナーが開催されました。

- 〈参加者の声〉
- その都度質問に答えてもらいながら学べたかったです(学内・教員)
 - TA、SAなどにも聞かせるので、教員のサポートについてもらえたら良いと思います(学内・教員)

自主性を育むプロジェクト学習(PBL)を授業に取り込む方法

大阪大学ショセキカプロジェクトは、基礎セミナー「本をつくる」から生まれました。6月19日と7月3日に、「本をつくる」の担当教員の一人である松行輝昌准教授(全学教育推進機構)により、大阪大学ショセキカプロジェクトを題材として、学生の自主性を育むための授業の効果的運営技法について考えるセミナーが開催されました。

- 〈参加者の声〉
- 学生のアイデア・モチベーションが幅広いものであるにもかかわらず、その引き出す工夫が必要で、それは大変だけれどももしろうたと思いました(医学系研究科・教員)
 - 実際の大阪大学のPBL型学習内容の取り組みを聞くことができ、これまでの過程や課題を知ることができて良かったです(学外・教員)



iPadを活用したアクティブラーニングツール「BeeDance」の使い方

BeeDanceは、iPad等を使ってアクティブラーニングや協働学習を支援するためのツールです。5月21日、岩居弘樹教授(全学教育推進機構)により、BeeDanceを実際に試しながら、授業での活用方法を考えるセミナーが開催されました。

- 〈参加者の声〉
- これからBeeDanceを活用させていただきます(言語文化研究科・教員)
 - BeeDanceの使い方がこれまでよくわからなかったのが助かりました。まずは出席管理からやりたいと思います(学内・教員)



ノートPCでお手軽ビデオ教材を作ってみませんか？

PCでお手軽にビデオ教材を作成し、専用サイトやCLEを通して学生に配信することができる「Echoパーソナルキャプチャ」(ダウンロード可)というものがあります。5月29日、黒田嘉宏准教授(サイバーメディアセンター)により、ノートPCで実際に映像教材をつくりながら、授業での活用方法を検討するセミナーが開催されました。

※本セミナーは2014年度後期にも開催されます。

- 〈参加者の声〉
- マンツーマンに指導してもらえてよかったです(学内・教員)
 - 全く使用方法を知らなかったのが、今後使いたいと思います(グローバルコラボレーション・教員)

研究倫理教育をどう授業・指導の中に取り入れるか

研究倫理についての教育をどのように行えばいいのか。これは喫緊の課題となっています。6月19日、中村征樹准教授(全学教育推進機構)により、研究倫理をめぐる近年の動向を学んだうえで、何をどのように指導すればいいのかを考えるセミナーが開催されました。

- 〈参加者の声〉
- 研究倫理の留意点を資料に記していたのがありがたかったです(人間科学研究科・教員)
 - あらためて書類ばかり増え、形骸化している倫理審査の弊害を感じました(学内・教員)



◎大学院生向けプログラムの紹介

「大阪大学未来の大学教員養成プログラム」始動！

2014年度から本格始動した「大阪大学未来の大学教員養成プログラム」。大学教員を志望している大学院生(修士課程・博士課程)を対象に、大学教員として教壇に立つための様々なノウハウを学ぶ科目として、まず「大学授業開発論Ⅰ」(2単位)がスタートしました。1学期の「大学授業開発論Ⅰ」では9つの研究科から19名の大学院生が集まりました。15回のうちで印象に残っている授業を3つ尋ねたアンケートでは、半数以上の人が「模擬授業とピアディスカッション」を1位に挙げていました。その理由には、「自分のやり方に対し、先生方だけでなく学生から直接意見が聞けたこと。また他人のやり方を見て評価するというのも良い経験になった」という意見や「模擬授業のために授業計画と資料等を準備する中で、何を伝えたいのか、初めて考えた気がする。そして他の人の模擬授業を見ることができ、学ぶ点が多かった」という意見がありました。自分の模擬授業だけでなく、仲間の模擬授業から学んだことがたくさんあったようです。是非、大学教員を将来のキャリアとして考えている大学院生にご紹介ください！

※2014年度2学期に開講される科目は「大学授業開発論Ⅱ」です。

- 〈参加者の声〉
- 正直最初うさんくさい勉強会だと思ってました。でも参加してみたら全然違って、しっかりとした講義だとわかりました(基礎工学研究科)
 - 1期生として学ばせていただけたことに感謝しています。そして、講義終了後もフォローしてくださる体制に、心強さを感じます(医学系研究科)
 - 今回の授業では、常々不安に感じていた大学教育に関するプラクティカルな知識は得られたが、大学で教えることの社会的な意味について、個人的には知りたいたことが多く残った。ただ、1学期という限られた時間の中で、有意義な情報と貴重な指導が得られたことは大変有難かった(国際公共政策研究科)



◎大学教員になるための戦略

—大学界で生き残り、成功するための秘訣—(公開授業)

7月16日に「大学授業開発論Ⅰ」のスペシャル講義として、シェルタ・デボースキー博士(オーストラリア)を講師にお迎えし、アカデミックな世界で成功するために、自分自身をどのようにポジショニングするか、どのような戦略的アプローチをとるべきかを考えるセミナーが行われました。

- 〈参加者の声〉
- 自分のAcademic Strategyについてアセスメントを行ったことで、自分の強みをどう活かすことができるか、自分の弱みをどのように克服していくべきかといったことを把握することができたので、大変役に立ちました。また、mentorの大切さについても改めて実感しました(国際公共政策研究科)
 - 自分は研究自体にはある程度のキャリアプランを持っていたが、大学教育に関するキャリアプランは漠然としていたので、これから教員になるにあたって使っていくと思うことがありました(情報科学研究科)



TLSC STAFF

わたしたちが、研修講師・コンサルタントを務めます。



竹村治雄
センター長
サイバーメディアセンター・教授
全学教育推進機構企画開発部長



佐藤浩章
副センター長
全学教育推進機構・准教授



堀 一成
副センター長
全学教育推進機構・准教授



〈専任教員〉
家島明彦
教育学習支援センター・講師



〈特任教員〉
森 秀樹
教育学習支援センター・特任講師



〈特任教員〉
大山牧子
教育学習支援センター・特任助教



〈特任研究員〉
根岸千悠
教育学習支援センター・特任研究員



〈特任研究員〉
シング・クムド・ピラハム
教育学習支援センター・特任研究員



〈兼任教員〉
岩居弘樹
全学教育推進機構・教授



〈兼任教員〉
兼松泰男
産学連携本部・教授



〈兼任教員〉
山口和也
全学教育推進機構・教授



〈兼任教員〉
黒田嘉宏
サイバーメディアセンター・准教授



〈兼任教員〉
西森年寿
人間科学研究科・准教授



〈兼任教員〉
松河秀哉
全学教育推進機構・助教



〈兼任教員〉
有川友子
国際教育交流センター・教授
(特任研究員)
濃師みゆき
教育学習支援センター・特任研究員



〈兼任教員〉
松行輝昌
全学教育推進機構・准教授